

# 競 技 上 の 注 意

## 第66回青森県卓球選手権大会

審判長 木村 茂

本大会は、現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

選手はスポーツマンシップに則り、ルールとマナーを守り、正々堂々競技すること。

### 1 試合方法

- ・種目は個人戦（小学校、中学校、一般、年代別の男女）とし、11本5ゲームマッチで行う。
- ・タイムアウト制は適用しない。

### 2 試合球

- ・JTТА 使用指定のプラスチック球（ニッタクプレミアムクリーン・VICTAS(VP40+)・バタフライ(R40+)の選択制）：40mm ホワイトボールを使用する。

### 3 ラケット・ラバーについて

- ・外国製ラケットで JTТА の公認していないものを使用する場合は、試合前に審判長の許可を得ること。
- ・ラバーは JTТА または ITTF が公認したもので、公認マークがなければならない。
- ・カラーのラバーを使用する場合は、片面は黒色（ペンホルダーの場合も含む）とする。

### 4 服装について

- ・ゼッケンは日本卓球協会指定「2024 年度用」のものを使用すること。
- ・競技用服装（半袖シャツ、ショーツまたはスカート）は JTТА のマークがついたものを着用すること。

### 5 休憩について

- ・ゲームの間の休憩は1分以内。
- ・タオルの使用は6本ごととする。ただし、手のひらの汗を拭く場合とメガネに付いた汗等を拭くときはこの限りでない。

### 6 アドバイス等について

- ・アドバイザーのベンチ入りは可能とする。ただし、小・中学校の試合では、ゲーム中のアドバイスは一切禁止されている。

### 7 審判について

- ・審判は敗者審判とする。但し、第1試合の審判を指名（別紙に記載）してありますのでご協力ください。

### 8 一般的注意事項

- ・選手は、試合進行状況を確認し前の試合が終わり次第コートに入ってください。
- ・棄権等があるコートでは、タイムテーブルより早く行う場合もある。また、試合進行の都合で予定コート、あるいは試合時間を変更する場合は、放送でお知らせします。